

Castello del Trebbio

カステッロ デル トレブビオ

カステッロ デル トレブビオは、12 世紀の終わりにパッツィ家により建設された。「トレブビオ」という名前は、ラテン語の「Trivium」つまり「3 本の道」を意味している。

14 世紀、パッツィ家はメディチ家に次ぐ強い権力を誇っていた。1478 年、パッツィ家の一部の者が、この勢力バランスを崩そうと、当時のメディチ家 最高権力者・ジュリアーノとロレンツォ兄弟の殺害を企てた。歴史上この事件は「パッツィ家の陰謀」と呼ばれる。

メディチ家の兄弟はトレブビオでの晚餐に招待された。しかしロレンツォが体調を崩したため、2 人は晚餐に出向かず、この暗殺計画は失敗に終わった。次の暗殺の試みは、フィレンツェの大聖堂でのイースター・サンデーの集まりだった。そこでジュリアーノは殺害されたが、ロレンツォは難を免れた。

その後のロレンツォからの報復は恐ろしいものであった。パッツィ家の人々は全員殺され、全ての財産は没収された。カステッロ デル トレブビオはメディチ家に譲渡されたが、2 つの宝物だけが残された。現在も中庭に残る、ドナテッロによって彫刻を施された盾と、アンドレア デル カスターニョによるフレスコ画である。

城は 15 世紀にメディチ家が中庭を増築し、中井戸を加えた時に大きく改装された。

現在のファミリーがカステッロ デル トレブビオを購入したのは、1968 年である。父親はイタリア人、母親はオーストリア生まれである。城を修復し、ブドウ園を建設したことが、現在のトレブビオの素晴らしさに繋がっている。不幸なことに 1988 年に父親が亡くなり、その 16 ヶ月後に母親がバスの交通事故で亡くなった。その後 3 年間は 5 人の子供たちがトレブビオを運営したが、5 人のマネージャーの間には多くの争いや困難が生まれたため、長男がトレブビオを財政管理することになった。現在トレブビオは 2 人の兄弟とその家族が所有している。

彼らはトレッビオの目標を、高品質のワインとオリーブオイルの生産にシフトした。

今日では、トレッビオは約 35 万本のワインを生産している。伝統的なキャンティや、求めやすい価格で 毎日気軽に飲める DOCG から、高品質のスーパー・タスカン「パッツェスコ」(サンジョヴェーゼ、メルロー、シラーのブレンド) や、キャンティ・ルフィーナ・リゼルヴァの「ラストリカート」などである。ワインメーカーはステファノ・カサデイが務め、城の所有者であるアンナ・バイ・マカリオは、マーケティングと高品質のエクストラ・ヴァージン・オリーブオイル及びサフランの生産の責任者を務める。

城には「見張り人のマリオ」と呼ばれる管理人がいる。彼は 1953 年から城を守り、そのグリーンのアミー・ユニフォームと大きな羽のついた帽子とともに、まさに生きる伝説となっている。

近年、トレッビオはワイン・テイastingやアグリツーリズム等の観光ビジネスをスタートさせた。ゲストは居心地の良いアパートメントに宿泊することができ、数家族、または友達同士のグループには、大きなヴィラが提供される。ゲストはリラックスし、フィレンツェやシエナ、ピサなどのような、近郊の歴史的な街を訪れることができる他、トレッビオにより運営されている、トスカーナ料理教室や陶芸クラス、乗馬、トレッキング、マウンテン・バイク、ワイン・テイastingといった様々なアクティビティに参加することもできる。

カステッロ デル トレッビオ を一言で言い表すと:

文化、リラックス、素晴らしいワインと食事、スポーツ、その他行うこと全てに愛情と情熱をかけているワイナリーである。